

横浜山手西洋館 写真・歴史文化講座 「写真家 立木義浩氏 原点の場所で」 を開催します。

横浜山手西洋館では、平成 28 年 9 月 10 日（土）に、写真・歴史文化講座「**写真家 立木義浩氏 原点の場所で**」を開催します。講師には、日本を代表する写真家のひとりである、立木義浩氏をお招きします。

第一部の写真講座では、立木氏の写真への想いや、カメラの魅力をお話しいたします。第二部の歴史文化講座では、横浜に移築される前の洋館の様子や、立木氏の新人カメラマン時代の思い出などについて、語っていただきます。外交官の家は、もともとは渋谷にあり、立木氏が働いていた「アド・センター」の社屋の一部があったことから、立木氏とは縁の深い建物です。

カメラや写真を通じて、歴史的建造物の新たな魅力をお楽しみください。

たつき よしひろ
立木 義浩氏 プロフィール

1937 年(昭和 12 年)、徳島県に生まれる。
1958 年、東京写真短期大学（現・東京工芸大学）卒業。
アド・センター設立時にカメラマンとして参加。
1969 年フリーランスとなる。広告、雑誌、出版など
幅広い分野で活躍。『家族の肖像』ほか、著書・作品多数。



【開催概要】



| | |
|-------|--|
| 日 時 | 平成 28 年 9 月 10 日（土）16 時～18 時 30 分 |
| 会 場 | ブラフ 18 番館・外交官の家 |
| 内 容 | 第一部 写真講座（ブラフ 18 番館） 外交官の家へ移動しながら、各自写真を撮影 第二部 歴史文化講座（外交官の家） |
| 定 員 | 40 名（定員になり次第締め切り） |
| 応募方法 | 8 月 1 日（月）10 時から受付 ブラフ 18 番館へ、電話または来館（045-662-6318） |
| 参加料金 | 2,500 円（飲み物・軽食つき） |
| 持 ち 物 | カメラ |



お問合せ先

管理課 課長 染川 正男 Tel 045-228-9432

【参考資料】

| 西洋館名 | 施設概要 |
|--|---|
| <p>ブラフ 18 番館 (横浜市認定歴史的建造物)</p>  | <p>大正末期に山手45番地に建てられた木造2階建ての外国人住宅で、平成 5 (1993) 年に山手イタリア山庭園内に移築復元しました。館内は震災復興期(大正末期から昭和初期)の外国人の暮らしを再現し、元町で製作されていた横浜家具が復元展示されています。</p> |
| <p>外交官の家 (旧内田邸 重要文化財)</p>  | <p>明治 43 (1910) 年、東京渋谷に J.M.ガーディナー設計により明治政府の外交官・内田定槌邸として建てられました。平成 9 (1997) 年、横浜市は内田定槌氏の孫にあたる宮入氏より、この館の寄贈を受け、山手イタリア山庭園に移築復原し、一般公開しました。同年、国の重要文化財に指定されました。</p> |